



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 東福製粉株式会社
 コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野上 英一
 (氏名) 中路 節

TEL 092-781-1661

上場取引所 東 福

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,724	9.0	△19	—	△21	—	△23	—
23年9月期第2四半期	1,581	△12.6	6	△88.1	18	△70.3	20	△58.8

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 △9百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	△2.40	—
23年9月期第2四半期	2.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
24年9月期第2四半期	4,044	—	1,709	—	42.3	171.64	—	
23年9月期	3,871	—	1,719	—	44.4	172.60	—	

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 1,709百万円 23年9月期 1,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	9.2	△42	—	△42	—	△13	—	△1.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社トーフク
詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	10,000,000 株	23年9月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	39,767 株	23年9月期	39,767 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	9,960,233 株	23年9月期2Q	9,961,142 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。平成24年5月8日付にて、四半期財務諸表に対する四半期財務諸表レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成24年3月31日)における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかながら持ち直しの兆しが見られるようになりました。しかしながら、欧州債務危機や原油高の動向によっては我が国景気への悪影響が懸念されるほか、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらにはデフレの影響等が依然残っており、経済情勢は先行き不透明な状況が続いております。

製粉業界におきましては、海外穀物相場の上昇傾向は一段落し、政府売渡小麦価格は、昨年10月に約2%の値上げが行なわれましたが、本年4月には約15%の値下げが決定しております。

このような中、当社グループは新規顧客の開拓や既存取引先の拡充などの販売強化や製造効率の向上等に努めて参りましたが、依然としてデフレの影響による低価格志向が続く中、さらに販売競争が激化する厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高で対前年同期比9.0%増の17億2千4百万円、また営業損失で1千9百万円(前年同期営業利益6百万円)、経常損失で2千1百万円(同経常利益1千8百万円)、四半期純損失で2千3百万円(同四半期純利益2千万円)とそれぞれ減益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

<製粉事業>

製粉事業におきまして主力の小麦粉は、消費低迷及び低価格志向を背景とした厳しい販売競争の中、新規開拓等による販売強化に努め、また一部大口需要先への販売数量の増加などがありましたので、売上高は対前年同期比1億3千9百万円増加し、11億7千2百万円(対前年同期比13.5%増)となりました。副製品のふすまは、販売価格の低下等はありませんでしたが、小麦粉の生産数量の増加により販売数量が増加しましたので、売上高は対前年同期比1千6百万円増加し9千2百万円(同22.0%増)となりました。また、ミックス粉も小麦粉と同様、市場の低価格競争や消費低迷など厳しい経営環境にありましたので、売上高は対前年同期比3百万円減少し7千7百万円(同4.7%減)となりました。商品では、米穀類の販売は好調だったものの米穀以外の商品販売が低調だったため、売上高は2百万円減少し3億5千7百万円(同0.7%減)となりました。不動産収入につきましては、預かり物件の減少により倉庫収入が減少したものの不動産賃貸収入は昨年同様に推移しましたので、売上高はほぼ昨年並みの1千3百万円(同4.3%減)となりました。不動産賃貸のうち、本年3月にテナントとの契約が終了しました無洗米工場跡につきましては、まず倉庫としての活用を図り、外部に委託しております製品等を自社で保管することによりコストの軽減に努めてまいり所存であります。

以上の結果、製粉事業の売上高は対前年同期比9.5%増の17億1千3百万円、セグメント利益は同14.1%減の1億7百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

当社は、業務の効率化を図るため、不動産賃貸事業を行っておりました連結子会社である株式会社トーフクを本年1月1日付で吸収合併いたしました。なお、昨年6月末にテナントが退去いたしましたのが同年12月より新たなテナント先が営業を開始しましたので、売上高は対前年同期比37.3%減の1千万円、セグメント損失1千3百万円(前年同期はセグメント利益5百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産高は、前連結会計年度末(平成23年9月30日)に比べ1億7千3百万円増加し、40億4千4百万円となりました。この主な要因は、棚卸資産と有形固定資産が減少した一方で、売掛金とリース投資資産の増加がそれらを上回ったことによるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億8千2百万円増加し、23億3千5百万円となりました。この主な要因は、長期借入金とリース投資債務の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、17億9百万円となりました。この主な要因は、株式等評価差額金が増加した一方で、繰越利益剰余金と別途積立金の減少がそれらを上回ったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2千9百万円増加し、3億8千6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8百万円の収入となりました。この主な要因は、たな卸資産の減少6千4百万円及び減価償却費5千9百万円となりましたが、売上債権の増加により9千1百万円支出したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7百万円の支出となりました。この主な要因は、設備投資で2百万円支出したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2千7百万円の収入となりました。この主な要因は、長期借入金1億5千

万円の借入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社におきましては、4月に実施した政府売渡小麦価格の値下げやそれに伴う小麦粉価格の改定、さらには電力供給の制約やデフレの影響による景気の先行き不透明感など経営環境は依然として厳しいものがありますが、一層の販売力の強化や製造効率の向上、さらには徹底的なコスト削減を推し進めてまいりますので、平成23年11月11日に公表いたしました通期連結業績予想のとおり変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、平成24年1月1日付で連結子会社である株式会社トーフクを吸収合併いたしました

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません、

(追加情報)

1. 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

2. 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.8%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.4%となります。

なお、これによる当四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	356,777	386,110
受取手形及び売掛金	459,064	553,131
商品及び製品	212,493	247,036
原材料及び貯蔵品	570,960	471,747
その他	27,923	102,469
貸倒引当金	△2,845	△4,027
流動資産合計	1,624,373	1,756,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	763,500	734,465
機械装置及び運搬具(純額)	581,605	547,192
その他(純額)	136,031	134,875
有形固定資産合計	1,481,137	1,416,533
投資その他の資産		
投資有価証券	551,129	579,094
その他	351,522	428,140
貸倒引当金	△136,426	△135,323
投資その他の資産合計	766,226	871,911
固定資産合計	2,247,363	2,288,444
資産合計	3,871,737	4,044,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,583	310,997
短期借入金	1,008,000	1,008,000
1年内返済予定の長期借入金	199,836	220,312
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	5,106	4,264
賞与引当金	20,949	16,526
その他	83,071	107,987
流動負債合計	1,671,547	1,708,087
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	381,340	408,684
退職給付引当金	1,866	2,154
その他	57,810	196,392
固定負債合計	481,017	627,230
負債合計	2,152,564	2,335,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,179,069	1,155,215
自己株式	△3,452	△3,452
株主資本合計	1,743,493	1,719,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,321	△10,044
その他の包括利益累計額合計	△24,321	△10,044
純資産合計	1,719,172	1,709,594
負債純資産合計	3,871,737	4,044,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,581,385	1,724,059
売上原価	1,290,545	1,463,128
売上総利益	290,840	260,931
販売費及び一般管理費	284,074	280,617
営業利益又は営業損失(△)	6,765	△19,685
営業外収益		
受取利息	87	68
受取配当金	1,984	2,576
持分法による投資利益	24,176	12,689
その他	4,894	632
営業外収益合計	31,143	15,966
営業外費用		
支払利息	18,920	17,205
その他	132	299
営業外費用合計	19,053	17,505
経常利益又は経常損失(△)	18,855	△21,224
特別損失		
固定資産除却損	—	5,059
その他	—	49
特別損失合計	—	5,108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,855	△26,333
法人税、住民税及び事業税	3,268	3,119
法人税等調整額	△4,653	△5,598
法人税等合計	△1,384	△2,479
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	20,240	△23,854
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,240	△23,854

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	20,240	△23,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,316	14,093
持分法適用会社に対する持分相当額	205	183
その他の包括利益合計	6,521	14,276
四半期包括利益	26,761	△9,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,761	△9,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,855	△26,333
減価償却費	62,411	59,545
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,845	79
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,802	△4,423
前払年金資産の増減額(△は増加)	32,058	△2,815
受取利息及び受取配当金	△2,072	△2,645
支払利息	18,920	17,205
持分法による投資損益(△は益)	△24,176	△12,689
固定資産除却損	—	5,059
売上債権の増減額(△は増加)	△106,288	△91,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	125,206	64,670
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,502	△3,585
その他	7,309	25,593
小計	124,764	28,217
利息及び配当金の受取額	2,061	2,633
利息の支払額	△19,194	△17,764
法人税等の支払額	△3,960	△4,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,671	8,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	250	300
有形固定資産の取得による支出	△46,798	△2,849
投資有価証券の取得による支出	△966	△1,050
その他	△1,188	△3,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,003	△7,041
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,000	—
長期借入れによる収入	340,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△111,156	△102,180
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△118	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	204,725	27,820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,393	29,333
現金及び現金同等物の期首残高	313,821	356,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	573,215	386,060

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,564,242	17,142	1,581,385
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,564,242	17,142	1,581,385
セグメント利益	125,394	5,901	131,296

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	131,296
全社費用(注)	△124,530
四半期連結損益計算書の営業利益	6,765

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,713,307	10,752	1,724,059
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,713,307	10,752	1,724,059
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	107,657	△13,959	93,698

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	93,698
全社費用(注)	△113,384
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△19,685

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。